◆かほく句会◆

犬蓼(たで)や道細りゆく清瀧寺　乾　真紀子
秋刀魚焼く大根おろす夫の居て　奥宮さとみ
コスモスを挿して込み合ふ美容院　久保　貴女
野辺送り色なき風を纏(まと)ひけり　黒岩千英子
深秋や千年続く舞神楽　黒岩　幸女
稲熟れて空を歪(いびつ)に雨続く　小松　隆之
着慣れたる野良着案山子に譲りけり　小松　昇
長き夜の言葉のいらぬ夫婦かな　杉山　春萌
姥ひとり南京の種を干してあり　西本　昶猪
村中の倖集め秋ざくら　前田　欣一
だんまりの小田となりたる赤のまま　前田　秀女
踵より踏み出す今朝の秋高し　間崎　和代
高空のあり風のあり野紺菊　森本　之子
蹄跡水澄む川に続きたる　山中　晶子
軽トラを止めて月見る山男　山中　瑞輝
爽やかや友回復の兆し見ゆ　山中　明石

◆かがみ野俳句会◆

可も不可も無き日何より酔芙蓉　佐竹　洋子
雲追ふて望月清(さや)か風の神　鍵山　和枝
秋気澄む稜線の日矢今朝の道　佐藤　幸
山寺の一打の響き天高し　利根　弘子
碑の奥より撓(しな)る萩の風　古川　信子
児と遊ぶ木の葉のお皿赤のまま　小松　愛子
秋の蝶人に明かさぬ小径かな　中澤　美晴
うねうねと四国山脈秋晴れて　西内　保衛
唐がらし吊るし古里近くせり　森本　倢代
尾花道丈上下して遍路行く　山﨑　鈴子
大安の天神混み合ふ神の留守　吉田　芳

◆韮句会◆

湯豆腐を妻手の平に二つ切り　吉村　幹愛
へのへのや子供案山子の顔四十　岡本かほる
秋晴や干せるものみな庭に干し　高橋　章
鉄塔に光る碍子(がいし)や鵙(もず)高音　西川　常夫
胸像の腕組み解かぬ秋思かな　北村　幸子
水澄むや人も景なる太鼓橋　甲藤　卓雄
夕日より高き夕月芒原　野崎　典子
入院の祖母のよろこぶ衣被(きぬかつぎ)　北村　里子
耳遠き母に高声秋高し　山中　弘子
幼子のはなし十六夜の月を待つ　明石　英子
退院の帰宅唐黍焼く匂ひ　竹内　ろ草

◆土佐山田町俳句会◆

通夜殿に廻り舞台や稲熟るる　明石　韮生
うどん屋に座る欠け臼梅もどき　前田美智子
団栗を手にいっぱいの子のはなし　大石　邦男
一豊の螺鈿(らでん)陣笠鳥渡る　安丸　槙子
ふりむけば金木犀の風舞いて　前田　隆明
父の忌や蓑虫を木に忘れけり　橋本　昭和
山柿の実りし辻の道祖神　田村　一翠
吊革に白き手並ぶ星月夜　樫谷　雅道
手の老斑里の泉に遊ばせる　馬場　英男

◆投稿作品◆

赤蜻蛉(とんぼ)白き芙蓉(ふよう)の咲く庭に　小野寺朱実
如何せむ鍬の前(さき)なる草もみじ　小原　子川
菊の香や書斎にひと日こもりけり　小原　景守
電柱に鳥よろける野分かな　岡本　朴舟
秋冷の高きに鳴きて鳶一羽　北村千鶴子
障子貼る古き我が家に誇り持つ　公文多賀子
秋遍路リストラ盛年無精髭　高野　和一
落柿舎を出し明るさの稲架襖(はざぶすま)　千頭　野草
二刀流いづこに果つやいぼむしり　福留ともの
古郷の空にたなびく鰯雲　萩野多美子
盆太鼓どらんどらんと一揆村　前田　小夜
夕すげを今日も眺めて心癒ゆ　三谷　誠郎
山彦に弾む心や芋の露　山崎　貴子
大いなる実をかがやかせ笑栗　和田　可代

俳句・短歌の募集について

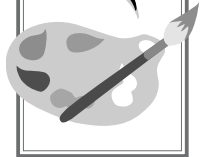
広報「香美」で掲載する、一般の方の俳句・短歌の作品を次のとおり募集しています。

【投稿方法】

▼投稿方法は自由。（ただし、官製ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで五句（首）以内まで）
▼かい書で、住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。

【投稿先】

〒782-8501　香美市土佐山田町宝町1-2-1
企画課内広報委員会事務局
（☎53-3114　FAX53-5958）

香美市立美術館 アートの窓

「中村　博　展」

開催中～12月24日（日）

高知県展の生みの親であり、育ての親であった洋画家・中村博の画業を振り返る展覧会を開催しています。

一九八〇年、お亡くなりになる前、ご家族に「私が死んだら、アトリエにある絵は全て焼くように…」と遺言を残されたそうですが、「どうしても、父の作品に火をつけることができなくて…」とご遺族の方からお伺いしたことがきっかけで、展覧会を開催させていただくことになりました。

中村先生のアトリエに残された作品は、県内では未発表のものが多く、どれも県民の貴重な財産というべきものだと思います。「よく燃やさずに残してくださった…」とご遺族の方に感謝しました。

戦火をまぬがれた滞欧作の風景画や国画会出品の静物画、晩年に描かれた風景やバラの花々が画家としてきびしい姿勢をつらぬき通した中村博の偉大さを表しています。

写真の作品は一九六八年に描かれ、第四十二回の国画会展に出品された『海のノース』です。ピカソ、マチス、ブラックらのヨーロッパ近代絵画の影響を受けながらも彼独特の色調が、深く味わいのあるしっとりとした画面を創りだしています。絵に対するきびしさと、やさしく、誠実な人柄がよく表されている作品だと思います。

今回は、アトリエに残されていた作品をご遺族のご協力によりお借りし、また生前に親交の深かった皆さまの個人蔵の作品も出品していただくことになりました。また、門下生の一人である織田信生さん（画家・デザイナー）のご協力で『中村先生とアトリエの生徒たち展』も同時開催しています。あわせてお楽しみください。

（館長・北泰子）

姉妹都市交流だより

第25回　刃物まつりに 積丹町訪問団が参加

◀積丹町の味覚を伝える「北海物産市場」は賑わいを見せ

十月十四、十五日に開催された第二十五回刃物まつりに、今年も姉妹都市の北海道・積丹町訪問団（団長＝佐藤勝次・積丹町地域間交流推進協議会長）、総勢八名が参加しました。

積丹町の訪問団が刃物まつりに参加するのは、今年で九回目となり、「積丹町の北海物産市場」の出店を楽しみに会場を訪れるお客さんもいるなど、長年にわたる交流の成果が実を結んでいます。

会場では、本場北海道の秋の味覚「鮭のチャンチャン焼き」の実演販売や、積丹町ブランドのジャガイモやカボチャ、積丹町でとれた海産物の珍味などの販売が行われ、大勢のお客さんで賑わいました。

（香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会事務局）